

## 平成29年度 事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人ぽんぽん船

- ・理事会（開催年月日 平成29年5月19日（金）  
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）  
出席理事 9名（理事人数9名）  
議決事項の概要 ・平成28年度事業報告及び活動計算報告について  
・平成29年度事業計画及び活動予算（案）について
  
- ・総会（開催年月日 平成29年5月27日（土）  
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）  
出席会員 66名（うち表決委任者45名）／会員総数77名  
議決事項の概要 ・平成28年度事業報告及び活動計算報告について  
・平成29年度事業計画及び活動予算（案）について
  
- ・理事会（開催年月日 平成29年11月24日（月）  
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）  
出席理事 9名（理事人数9名）  
議決事項の概要 ・平成29年度積立基金の積み立てについて  
・旅費規程の一部変更について  
・給与規程の一部変更について  
・非常災害対策計画の一部変更について  
・施設外就労用車両の老朽化に伴う車両更新事業について
  
- ・理事会（開催年月日 平成30年1月26日（金）  
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）  
出席理事 9名（理事人数9名）  
議決事項の概要 ・指定特定相談支援事業者運営規程の一部変更について
  
- ・理事会（開催年月日 平成30年3月22日（木）  
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）  
出席理事 9名（理事人数9名）  
議決事項の概要 ・平成30年度事業計画及び活動予算（案）について

### 1 事業の成果

「障がい者自立支援事業を中心に、障がいのある方の自立した日常生活、社会生活の支援を行い、ノーマライゼーションの町づくりを推進する」という本法人の目的に沿い、下記事業を実施した。

#### ①【障がい福祉サービス事業】

障がい者の就労支援として、日中活動の場・就職に向けての総合的な訓練の場となるよう、個々に合った働き方を提供していくため、事業所の中での作業だけではなく、外部との関わりも大切にしながら、地域の企業や農業関係者等と連携して、多様な職種に取り組んできた。

#### [菓子製造]

型から手作りのオリジナルクッキーとフードプリンターによるプリントクッキー、両方を組み合わせてのクッキー等、デザイン・予算ともに、顧客のニーズにあった商品を提案・提供することで、常連客の他、新たな注文も増加し続けている。プリントクッキーが周知されたことで客層にも広がりがみられ、市外・県外からの注文も増えている。

平成29年度は、イオンモール出雲での販売開始の他、松江市の商業施設 縁結び八重垣 八重や出雲商業高校とのコラボ商品づくりにも取り組んだ。また、松江テルサで5日間開催された「全国ナイスハートバザール2017 in しまね」に、利用者・職員で参加し、お客さまとの交流や全国の事業所商品を見て学ぶ機会を設けた。

法改正に伴う食品表示の見直しも行った他、JANコードを取得したことにより、店舗ごとのシールを貼る必要がなくなり、作業改善・納品時の作業効率アップ等につながっている。

地域と連携した付加価値の高い商品づくりや販路拡大により、安定した作業量・作業収益の確保と工賃向上につながっている。

#### [農作業（農福連携事業）]

平成25年度から3年間、島根県「障がい福祉と農業との連携促進事業（農福連携事業）」の中の「障がい者に適した作業改善、就労形態の実証研究」として、島根県農業技術センターにおいてモデル事業を実施してきた。この実証研究の一環として、平成27年度より地域の農家と契約をし、ぶどうハウスでの作業を実施してきた。平成27年度は1軒の農家での実施であったが、ていねいで正確な作業が評価され、平成28年度は4軒の農家、H29年度は6軒のぶどう農家での作業に取り組んだ。

ぶどうの成長に伴い変化する作業の内容やその理由をよく理解し、専門的な作業をこなすことで、農家の信頼を得ることができ、昨年引き続き出荷作業の要望もあった。平成28年度は農家で出荷作業を行ったが、平成29年度は、ぽんぽん船の作業場を提供して出荷作業に取り組んだ。農家に通う時間を作業にまわすことで長時間の作業が可能になり、作業場が広いことで効率よく作業を進めることができた。また、作業を細分化することで、より多くの利用者が作業に関わることができた。作業種・作業量が増えることで作業時間も増え、工賃アップにもつながっている。よりよい商品づくり、より適正な時期の収穫による付加価値の高い商品づくり等、農家のみなさんと同じ目標に向かって作業をすることで、収穫の喜びや働く喜びを味わうとともに、働く中で自信をつけ、心身ともに成長することができた。

平成21年度から実施してきた農福連携事業は、全国的にも先進的な取り組みで県外からの見学者も多く、平成29年11月には、松江テルサで開催された全国ナイスハートバザール2017 in しまねのシンポジウムで、農家・島根県農業技術センター・島根県障がい者就労事業振興センター・ぽんぽん船職員・ぽんぽん船利用者家族による、実践報告を行った。

#### [清掃業務]

出雲市より、田儀農村広場・シーサイド公園のトイレ清掃業務を継続して請負い、年間を通して安定した作業となっている。また、社会福祉法人多伎の郷 認知症グループホーム はなんばの里の清掃業務は、マナーや清掃の手順・技術を身につけ、短時間ではあるが週4日の安定した作業となっている。施設外就労を通して地域の方と関わり、交流をするとともに、適度な緊張感を持ちながら作業を行うことで、社会の中で働く力を身につけていく訓練の場にもなっている。

### [請負作業]

平成28年度末より、ナカバヤシの作業に取り組み、複数の作業を年間通して行うことで、より多くの利用者が作業に関わることができた。その他、かみありづき・農家・出雲市等、複数の請負作業も継続して行ってきたが、确实・丁寧な作業を評価され、安定した作業量を確保できている。

### [アルミ缶リサイクル]

地域住民をはじめとし、(株)多伎振興・(株)三笠産業等、地域の企業のみなさまのご協力により、前年度並みのアルミ缶をリサイクルすることができた。缶の引取り価格の微増により収益も増え、安定した作業収益の確保につながっている。

## ②【相談支援事業】

福祉サービス等を利用しながら、自宅での安定した地域生活が継続できるよう、本人のニーズと社会資源等の連絡・調整等を行うため、相談支援事業に取り組んできた。旧出雲市・大社町・多伎町の障がい児6名・障がい者1名の相談支援を担当し、関係機関と連携しながら安定した地域生活が継続できるよう支援してきた。

## ③【地域生活支援事業】

日中一時支援事業を実施。地理的な条件等により、平成29年度の利用希望はなかったが、長期休暇中の充実した活動支援・家族の負担軽減等、今後も地域のニーズに応えることができるよう事業を継続していく方向である。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 単位(千円)
①障がい福祉サービス事業	就労継続支援B型	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	6名	21名	31,430
②相談支援事業	指定特定相談支援事業	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	1名	7名	1,187
③地域生活支援事業	日中一時支援事業	随時	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	0名	0名	0